

平成三十年度
玉東中学校便り
 文責 田河 第3号
希望の虹
 平成三十年五月二十三日



第五十四回体育大会 「積小為大」

去る五月二十日(日)、快晴の下、前田町長様・松尾議長様をはじめ多数のご来賓、地域や保護者の皆様にお出でいただき、第五十四回体育大会を盛大に開催することができました。

今年度の体育大会テーマは「積小為大」でした。これには小さな努力を積み重ねることで体育大会を成功に導くという意味があります。生徒達は約二週間の練習期間中、「返事の仕方」「集団行動の機敏さ」等、繰り返し指導を受けながら、まさに積小為大を実践してきました。

生徒全員が厳しい指導にも音を上げることなく最後まで粘り強く取り組むことができました。体育大会までのこのプロセスについて、私は高く評価したいと思います。会場におられた皆様が、本番での生徒達の行動から、取組の一端でも感じ取っていたのであれば幸いです。

練習期間中には放送の音等で近隣の方にはたいへんご迷惑をおかけしました。教育活動の一環としてご理解いただきましたことに深く感謝いたします。

One for all All for one



ギョワイス



本物の女子力



両団長の宣誓



組体操



今年は切れない



白熱の騎馬戦

新聞の日



玉東中では月に一回、熊日新聞玉東販売センター様のご協力を得て、「新聞の日」の取組を行っています。朝自習の時間に一人一部ずつ新聞を広げ、思い思いの記事をじっくりと読み込んでいます。

様々なニュースや意見に目を通す習慣を身につけることで視野がきつと広がっていくと思います。昨今の若者の情報取得の二スとはSNS等によるネットでの二ス配信へと移ってきていますが、紙を手に取りじっくりと読み込むのも大切なことだと思えます。

ご協力に感謝いたします。



心の栄養となる言葉⑬
 「人間というものは、自分の欠点に気付き出した時、ある意味では、すでにその欠点を越えようとしていつあるといってもよいでしょう。」
 森 信三(思想家・教育者)
 (修身教授録 一日一言 致知出版社より)